

お手入れ

カバー ●中性洗剤を使い、手洗いしてください。●塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。●風通しのよい日陰で干してください。●しっかり乾くまで使用しないでください。●アイロンがけはしないでください。

本体 ●乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。●風通しのよい日陰で干してください。●しっかり乾くまで使用しないでください。

保証書

保証期間：お買い上げから1年間

※お買い上げ時に、**お客様名・お買い上げ日・販売店名**をご記入ください。

もしくは**お買い上げレシート**を添付してください。

※本保証書は**再発行致しません**ので、紛失しないようご注意ください。

お買い上げ年月日	年 月 日		
商品名	MCハイバックFIX		
お客様	〒	-----	
	ご住所	-----	
	TEL()	---	
	お名前	-----	
販売店	〒	-----	
	住所	-----	
	TEL()	---	
	販売店名	-----	

〈企画・輸入元〉

株式会社シーエー産商

〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

〈販売元〉

株式会社西松屋チェーン

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

お客様相談窓口

株式会社シーエー産商

受付時間／AM10:00～12:00・PM1:00～PM5:00(月曜日～金曜日※弊社休日は除く)

TEL.0568-28-5333

FAX.0568-28-5340

MADE IN CHINA 2017-10

MC ハイバックFIX

〈ハイバックシート(グループII,III)〉

取扱説明書

〈適応体重〉

15kg以上36kg以下

●年齢の目安…3歳頃～11歳頃

●身長目安…95～138cm以下



保証書
付

※「年齢・身長の目安」は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様は、ご使用になれません。
(横向きや後ろ向きの座席にはご使用できません。)

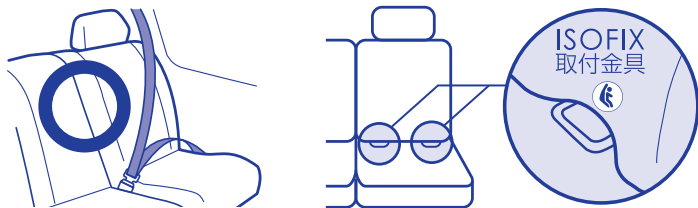
本革シートの車両は、シートが傷むおそれがありますので、そのまま本装置を取り付け
ないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからご使用ください。(別売)

ご使用になる前に

- 本装置はシートベルトのみで使用する「汎用」型とISOFIT装置を使用する「準汎用」型年少用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則第44号の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除き大抵の車両に適合します。
- 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
- 本装置は、3点式巻取装置付シートベルトを装備している座席にのみご使用できます。(2点式シートベルトの座席にはご使用できません。)
- ご不明な点は、お買い上げ販売店または、(株)シーエー産商までお問い合わせください。

取り付けできる座席

- 3点式シートベルトの座席。
 - 「ISOFIX取付金具」が装備されている座席。
(ISOFIX取付金具=座席の背もたれと座面の間に装備されている固定具)
- ※ご不明な場合は、車両の取扱説明書をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。



- ELR式シートベルト(緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト)
ゆっくり引き出すと自由に出入りしますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。
- AELR式シートベルト(チャイルドシート固定機能付シートベルト)
すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

取り付けできない座席

- 3点式シートベルトのついていない座席
- スポーツタイプなどの極端に座面が湾曲している不安定な座席
- パッシブシートベルト(自動式ベルト装置)や腰ベルトにELRが付いた座席
- 可倒式シートの場合、極端に寝かせた状態での使用
- フロントエアバッグを装備している座席
- 1BOX車・ミニバンなどの乗降口側の補助席および後部補助席
- 進行方向に対し、後ろ向きまたは横向きの座席
- 運転の障害になる座席および前席の中央座席
- 奥行き43cm未満の座席

下記、警告・注意・補足は安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

警告

事故につながったり、生命の危険・重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。より安全・快適にご使用いただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

補足

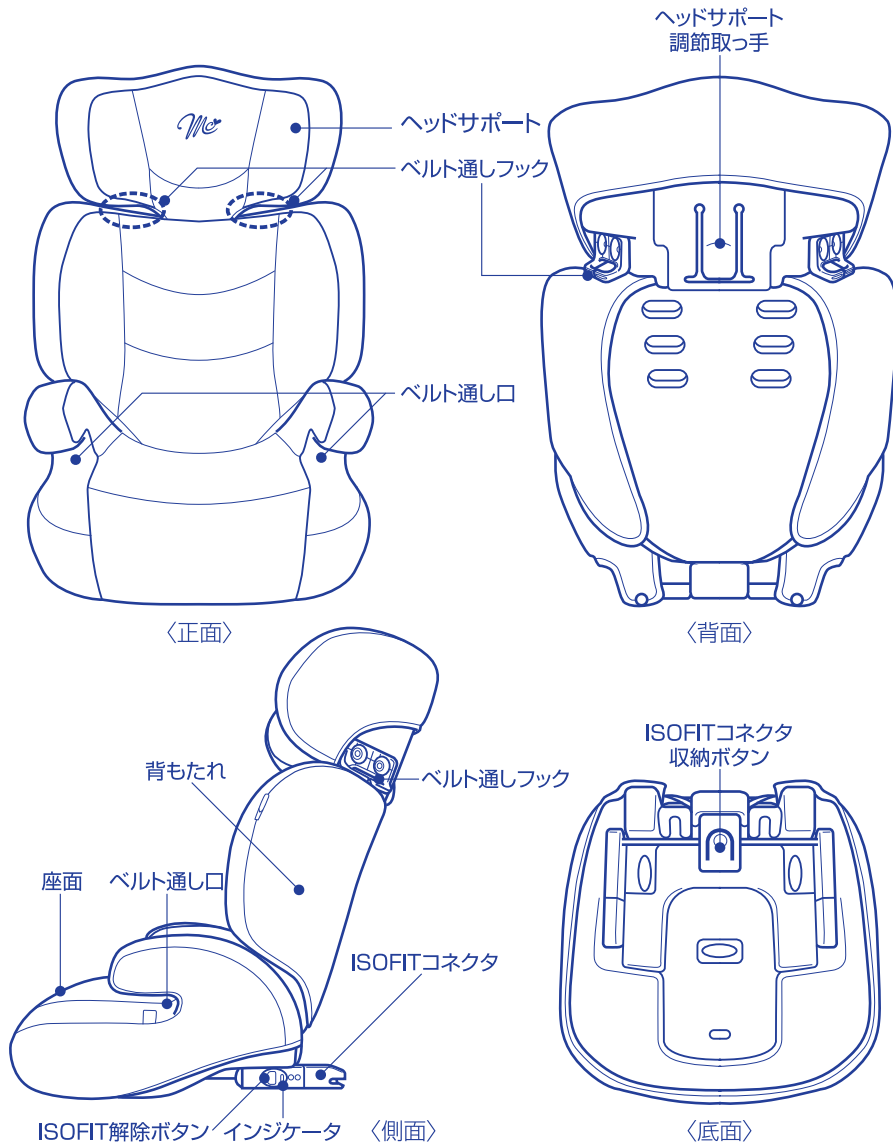
警告

- ①本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- ②車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- ③衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損の可能性がありますので使用しないでください。
- ④拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・発泡材等を外して使用しないでください。
- ⑤お子様を本装置に乗せてセットする際、骨盤が腰ベルトで固定されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- ⑥車両の走行中は、車両のシートベルトの調節やお子様の乗せ降ろし(乗り降り)は絶対しないでください。
- ⑦お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。
- ⑧本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になるおそれがあります。

注意

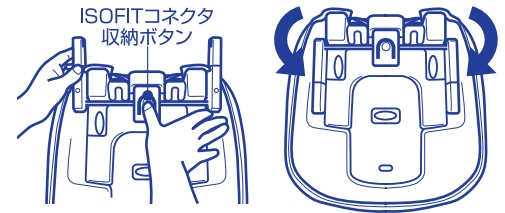
- ①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- ②本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部分に触れて熱くないかを確認してからご使用ください。
- ③お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がりたり、中腰にさせないようにしてください。
- ④本装置の可動部分に水やジュース等をかけないでください。部品の故障の原因になります。
- ⑤車両内に傷害を与える可能性のあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がけがをするおそれがあります。
- ⑥本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ずISOFITコネクタまたは車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してけがをするおそれがあります。
- ⑦本装置が車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- ⑧改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。
- ⑨本装置を保管する際、お子様の手の届かない場所に保管してください。不慮の事故につながるおそれがあります。
- ⑩ホコリの多い場所に放置したり使用したりすると、ISOFITコネクタの可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。

各部の名称

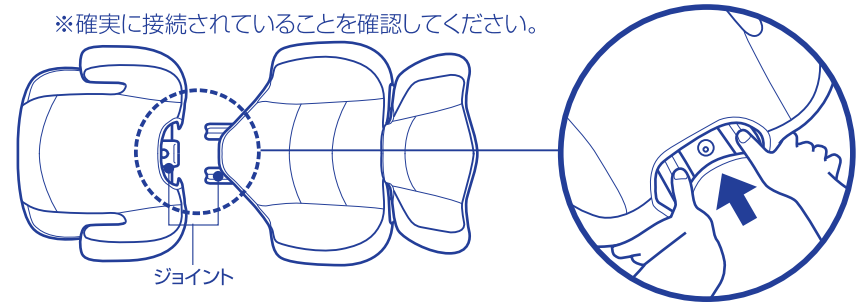


背もたれと座面の取り付け

背もたれと座面を取り付ける前に、ISOFITコネクタが出ている場合は、ISOFITコネクタ収納ボタンを押してISOFITコネクタを座面に収納してください。
 ※手や指を挟まないように注意してください。



1. 背もたれと座面を水平にして、背もたれのジョイント部分を座面のジョイント部分に合わせて、上から押し込んで接続します。
 ※確実に接続されていることを確認してください。



2. 背もたれと座面をしっかり持ち、座面を引き上げます。

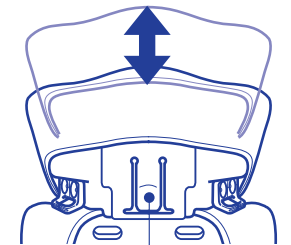
※引き上げるときにスムーズに上がらない場合は、再度確実にめ込んでから引き上げてください。



⚠ 注意

無理に引き上げると破損のおそれがあります。

ヘッドサポートの調節



ヘッドサポート調節取っ手

ヘッドサポート調節取っ手を引いて上下にスライドさせ、お子様の頭の高さ(ヘッドサポートに頭が収まっている位置)に合わせてください。

取り付け方

ISOFITコネクタを使用した取り付け方

1

背もたれと座面の取り付け後、座面に収納されているISOFITコネクタを半回転させてください。

※手や指を挟まないように注意してください。

補足

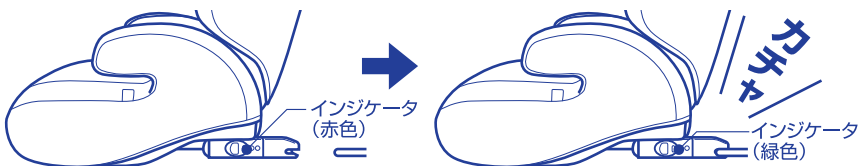
本装置を移動させる際は、背もたれと座面の接続が外れないように上・下部をしっかり持っておこなってください。

2

車両の座席に本装置を置き、ISOFIX取付金具に左右のISOFITコネクタが「カチャ」と音がするまで差し込んでください。

※左右のインジケータが赤色から緑色に変わります。

確実にロックされているか、本体を揺すって確認してください。



ISOFITコネクタの取り外し方

左右のISOFIT解除ボタン(右図)を手前に引いて、ロックを解除してください。

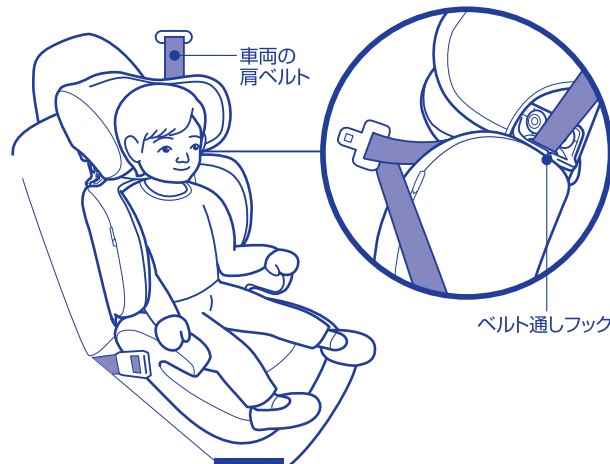


警告

左右のISOFITコネクタをISOFIX取付金具に確実に差し込み、固定してください。固定されていないと重大な事故・傷害を受けるおそれがあります。

3

お子様を深く座らせ、車両の肩ベルトをねじれないようにベルト通しフックに通し、お子様の首に掛からないように注意して通します。



4

車両の腰ベルトが左右のベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の骨盤の低い位置になるようにしてください。車両の腰ベルトが緩んでいる場合は車両の肩ベルトを引っ張り、確実にフィットするように装着してください。車両のシートベルトをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



注意

お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

ISOFITコネクタを使用しない使い方

ISOFITコネクタを収納してから、上記(3)→(4)の手順でご使用ください。